

事業所名	通所支援事業所チエロ					公表日	2026年 2月 27日				
					利用児童数	52名		回収数	25名		
	チェック項目	はい	いいえ	どちらともいえない	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応				
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	24			1	<p>・生活空間や設備は、実際に見ていないのでわからない。</p> <p>職員の数についても、どのように関わっているのかを実際に見ていないので、適切なかどうかはわからない。</p> <p>・遊戯室がとて広く子供が楽しく活動出来ている様です。</p> <p>・明るく、きれいで、吹き抜けや、外観がとても良いと思います。</p>	ご意見ありがとうございます。今後、実際の療育環境やスタッフの関わり方を見て頂ける機会を設定したいと思います。			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	20		1	4					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。	23		1	1					
	4	事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20			5					
	5	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こどもの活動に合わせた空間となっていると思いますか。	24			1					
適切な支援の提供	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	24		1		<p>・子どもの特性をしっかりと理解して関わっていただいていると感じています。</p>	ご意見ありがとうございます。お子様の得意なことを伸ばし、苦手なことをサポートするという基本的な考えのもと、しっかりと対応をしたいと思えます			
	7	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	25								
	8	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	24		1						
	9	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	25								
	10	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	24	1							
	11	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22		2	1					
	12	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。 ※公園や外出等での地域のこども達とのふれあひも含む	15	3	2	5					
保護者への説明等	13	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22	1	1	1	<p>・共感的に関わっていただき、困りごとがあるときには職員間で共有していただいた上で具体的なアドバイスをしていただいで、とても助かっています。</p> <p>・業務に関する自己評価の結果が公表されているかどうかは存じ上げませんでした。</p> <p>・23についてです。チエロを利用する以前に「てんとうむし」を利用した際、受付として玄関に入ってすぐに名前などを記入しました。その記入用紙は誰にでも見られる状態で置かれていたので気になりました。その日は私たちの他に利用者はいませんが、個人情報なので見えないようにした方が良かったと思います。</p>	<p>・ご意見ありがとうございます。情報に対する周知や共有がわかりにくくて申し訳ありません。今後は定期的にわかりやすく改めて発信してまいりたいと思えます。</p> <p>・ご意見ありがとうございます。個人情報の取り扱いに関しては、早急に改善を行いました。ご指摘いただいた点以外にも、不備がないか更に確認しながら行いたいと思えます。</p>			
	14	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23	1		1					
	15	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	21	1	2	1					
	16	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	23	1	1						
	17	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21		4						
	18	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	25								
	19	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 ※保護者食事会、ママランチ等も含む	23		2						

	20	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	24	1	1		
保護者への説明等	21	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22	2	1		
	22	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	18		3	4	
	23	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	24			1	
非常時等の対応	24	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	22	1		2	<p>・訓練の内容はよくわかりませんが、定期的に避難訓練は行われていると思います。</p> <p>ご意見ありがとうございます。当事業所では毎月、避難訓練をさせて頂いております。緊急対応、防犯対策、防災対策、感染症対策など改めて取り組み内容を発信してまいりたいと思います。</p>
	25	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	23			2	
	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	23			2	
	27	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	22		1	2	
満足度	28	子どもは安心感をもって通所していますか。	24		1		<p>・いつも楽しそうに通所しています。</p> <p>ご意見ありがとうございます。通所する事への楽しみや見通しが持てるよう工夫して個別に対応させて頂きます。どんなことでもご相談ください。</p> <p>・今日はチエロさんだよって伝えると大喜びしています</p>
	29	子どもは通所を楽しみにしていますか。	23		2		
	30	事業所の支援に満足していますか。	23		2		
その他							<p>・いつもありがとうございます。非常に助かっています。また子供もいつも楽しく通園しています。</p> <p>・いつもお世話になっております。何かあったときにはいつでも相談できる方がいると思うとそれだけで安心できます。頼りにしています。今後ともよろしくお願いいたします。</p> <p>・いつも個性を重視して、柔軟にプランを考えてくださったり、相談に乗っていただき感謝しています。子供の調子に合わせてくださり、楽しく登所しています。年に1回か2回、その時点の課題や就学に向けての定期面談があるとさらに良いと思います。</p> <p>ご意見ありがとうございます。お子様の成長は早く、得意なものや苦手なものが、変わっていく場合もありますね。不定期な面談の場だけでなく定期的に設定させて頂けるよう、改善を図ります。</p>

事業所名 通所支援事業所チエロ

公表日 2026年2月27日

	チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	わからない	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・ 体制 整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10					
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10				個別対応や専門訓練を実施する際は、時間や環境を工夫して行っている	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。	10					
	4 事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10					
	5 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10				遊具や手すり等の触れやすい場所は消毒を徹底している	
	6 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10				カームダウンエリアやスヌーズレンを活用して対応している	
業務 改善	7 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9		1			
	8 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10				職員間で共有し、改善策を検討する場を設けている	
	9 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10					
	10 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。※法人実習生等のアンケート含む	8		2		保育実習生にアンケートを取り、共有している	共有の仕方が不定期な事やウェブ上に保管されていることから共有機会が少ない
	11 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10				外部研修に積極的に参加し、事業所内で伝達研修も行っている	
適切 な 支 援 の 提 供	12 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10				HPや玄関先に提示している	
	13 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10					
	14 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10					
	15 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10					
	16 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10					
	17 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		1			
	18 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10					
	19 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10					
20 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10						

適切な支援の提供	21	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10			支援開始前にも打ち合わせを行い情報共有、役割分担の時間を設けている	
	22	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10			支援終了後に必ず振り返りの時間を設け、児童の様子を共有している。また次回の支援提供の仕方等も検討している	
	23	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10				
	24	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10				
関係機関や保護者との連携	25	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10			担当者会議にはベテランスタッフが参加している。後輩育成の観点からも複数で参加できるよう工夫したい	
	26	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。※子育てサロン等も含む	10				
	27	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9		1		
	28	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		2		移行時に必ず情報交換する会議は設けていない。主体的に情報共有の場を設けていきたい
	29	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	10				
	30	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。 ※代表職員の参加・伝達も含む	10			公認心理士（県委託事業）を招いて、支援スキルコンサルティングを複数回受けることができた	
	31	(自立支援)協議会なども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。※代表職員の参加・伝達も含む	10				
	32	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。					
	33	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。 ※公園や外出等での地域のこども達とのふれあひも含む	8		2		意図的に交流の機会は企画はしていない。グループ法人のイベントに積極的に誘いたい
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		1		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8		2		研修の提案は今後、定期的にSNS等を利用して発信していきたい
	保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10			
37		児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10				
38		「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10				
39		定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10			保護者のご希望を伺い、面談日を設定している	送迎利用されているご家庭に対しても面談日を定期的に提案し、コミュニケーションの機会を提案していく
40		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		4	茶話会を企画し保護者間の交流の機会を設けている	きょうだい同士で交流する機会は設けていなかった為、改めて検討する
保	41	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10				
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9		1		

護者への説明等	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10					
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10					
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3		7			手口単体では行っていないが、グループ法人としては行っている為、意図や目的をしっかりと発信していく
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10					策定し発信しているが、取り組み等を更に発信していけるよう環境を整える
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10					
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10					
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10					
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10				訓練を行い、スタッフ間で安全配慮を再確認した。また定期的に会議内でも実施できた	取り組み内容や計画を更にわかりやすく発信していきたい
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9		1			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10				支援後の振り返りの際に必ず共有し対策が必要な際は検討している	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10					
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8		2			対象児がない為、記載はしていない。しかしマニュアルや指針をスタッフ間で確認する機会を設けたい	

公表

事業所における自己評価総括表(児童発達支援)

○事業所名	社会福祉法人安積愛育園 通所支援事業所チエ工		
○保護者評価実施期間	2025年11月1日		2025年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	52名	(回答者数) 25名
○従業者評価実施期間	2025年12月20日		2025年12月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 11名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が提供できる。	アセスメントを保育士、児童指導員、言語聴覚士、作業療法士がしっかり行うことで多角的な見方ができ、時に役割分担し対応するときもある。	専門職(OT、ST)の配置を生かし多角的な見方を保護者様と更に情報共有を強化して関係機関に対しても共有していく。また個別のアセスメントを元に関係機関と連携し関わり方を共有していく。
2	活動環境は構造化され、「どこで」「なにをするか」等の見通しが立てやすいものになっている。	「環境設定が大切」ということをスタッフは理解し、個人や場面に合わせて構造化している。また環境を設定しうまく対応できたかどうかを毎日振り返りしている。その為、スタッフの対応そのものも改善・育成できる。	スタッフの人材育成の強化を図り、OJTに力を入れる。具体的には環境設定や場面に合わせた関わり方を後輩スタッフに具体的に伝えていく。専門的な知識や技術の質の向上を図る。
3	敷地内に病院があること、発達に課題がある児童への理解がある医療関係者がいることで医療との連携が図れる。	歯科受診訓練を通し、普段の生活に無い「受診の体験」ができている。診察台に座ったり、診察器具や質問のやり取りを通して「わかる」や「できた」を経験できている。	歯科受診訓練の様子や目的等を再度、保護者へ周知・共有し参加希望者の増加を目的にわかりやすく伝える。またその他の社会的な経験を積める訓練を設定する。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	こどもの状況やこどもの健康や発達の状況について共通理解が不十分なときがある	送迎対応(幼稚園等へ送迎)で毎回保護者様とお会いできない事が増え、日頃からこどもの状況やこどもの健康や発達の状況について共通理解を図る機会が減少している	計画的に面談日を設定し、保護者様とお子様の状態や今後の関わり方等を共有する。また年中や年長児には移行支援(就学)の情報共有も含めて面談する。
2	スタッフとご家族の間でお子様がお過ごししている生活環境(自宅)や活動環境(チエ工)を知る機会が不足している	自宅や療育室(チエ工内)の環境を双方で共有が不足している為、対応の仕方や環境面の課題等が不明瞭のまま、話を展開してしまっている。	療育見学の機会を定期的に策定し、スタッフの関わり方や環境設定を説明する機会を設ける。また家庭訪問も提案し、家庭の環境面を共有した上で個別具体的な相談内容にも返答できるように相互理解を図る。
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				回収数	
通所支援事業所子工口		2026年2月27日				10名	6名
		利用児童数				回収数	
チェック項目		はい	いいえ	どちらともいえない	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	3		2	1	いつも、訪問の主旨や目的に温かいご理解、ありがとうございます。ご本人、保護者、先生方が円滑にコミュニケーションが図れ、気兼ねなく相談できるような雰囲気作りをお手伝いさせて頂き、少しでも私共の事業が皆様のお役に立てますよう、今後も謙虚に自信をもって対応させて頂きます。今後とも、よろしくお願いたします。	ご意見ありがとうございます。視覚的な情報の方が伝わりやすい方にはカードや写真を使用してコミュニケーションを図っています
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	4			2		
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	6					
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	6					
適切な支援の提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	4		1	1	・いつも、より良い方向性を考えてくださり、家庭、学校、児童クラブ等、それぞれにアドバイスをしてくださり、ありがとうございます。 ・子どもの特性をきちんと理解した上で、どう関わっていくのが良いのかを考えてくれていると思います。保護者と訪問先の先生の意向なども考慮して、アドバイスしていただいていると感じています。	ご意見ありがとうございます。訪問も目的をしっかりと確認、共有し少しでも本人、保護者、先生方の不安や悩み事が軽減できるよう努めます。また環境や児童の状態に合わせた提案をさせて頂き、共感することも大切にしています。
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思えますか。	6					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思えますか。	6					
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思えますか。	6					
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思えますか。	6					
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思えますか。	5			1		
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思えますか。	6					
保護者	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4			2	ご意見ありがとうございます。相談援助はもちろんです、研修案内や事業所での取り組み内容を定期的に発信します。 ・訪問のために具体的な内容の報告書を書いていただき、面談でお話して下さるので、子どもの様子がわかりやすく、今後の方向性も一緒に考えてくださるのでとても助かっています。	
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4			2		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	4		1	1		
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思えますか。	5			1		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5			1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思えますか。	5			1		

への説明等	18	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4			2	
	19	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4			2	
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	5			1	
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	6				
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	6				
	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	2			4	
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5	1		1	
非常時等の対応	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	6				
	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6				
満足度	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	6				・子ども、『今日、チエロの先生が見に来てくれたよ!』と教えてくれます。ありがとうございます ご意見ありがとうございます。児童にとっても相談しやすいように訪問時にはできる限りの関りを持ち、関係性作りに努めたいと思います
	28	事業所の支援に満足していますか。	6				・子どもと一緒に見て、子どもにとってどうしていくのがいいのかを共に考えてくださるので、とても満足しています。

公表 訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名	公表日	2026年2月27日		
通所支援事業所子工口	訪問先数	4名	回収数	3名

チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	3				<ul style="list-style-type: none">・いつも励ましていただき、嬉しく感じています。保護者さんとの間に立って、協力できる道筋を考えてくださるので、とても良いアドバイスとなっています。・児童の行事参加について、いつも丁寧に助言やご支援をいただきありがとうございます。	いつも、訪問の主旨や目的に温かいご理解、ありがとうございます。ご本人、保護者、先生方が円滑にコミュニケーションが図れ、気兼ねなく相談できるような雰囲気作りをお手伝いさせて頂き、少しでも私共の事業が皆様のお役に立てますよう、今後も謙虚に自信をもって対応させていただきます。今後とも、よろしく願いいたします。
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	3					
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	3					
4 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	3					
5 事業所からの支援に満足していますか。	3					
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	通所支援事業所チエロ					公表日	2026年2月27日	
	チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	わからない	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
営 ・ 体 制 整	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	1		1		・視覚的な情報の方が伝わりやすい方には カードや写真を使用してコミュニケーション を図っています。	・サンプルや具体的に使用できるようなアイ テムの提案も積極的に提案させていただきます。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	2					
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	2				・外部研修にも積極的に参加し、常に資質の 向上を意識しています。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設け ており、その内容を業務改善につなげているか。	2					
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。	2					
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。	2					
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で 研修を開催する機会が確保されているか。	2					
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。	2				・支援計画の作成時は訪問先の先生方の意見 も聞かせて頂き、反映させている。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2					
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2					
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	2					
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー マルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	2					
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。	2				・支援の提案に関しては、環境面に合わせた 「具体的な提案」をさせて頂いている。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	2					
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている か。	2					
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2					
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。	2					
関 係 機 関 や 保 護 者	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善 に繋げているか。	2					
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育 所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っ ているか。	2					
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議 に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2					
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、 教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2					
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、 支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2				・訪問先でご本人が頑張っていることを中心 に肯定的に事実を伝え、サポートができるこ ころや訪問先で工夫して頂いている点をわか りやすく保護者にお伝えしている。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、 職員を外部研修に参加させているか。	2					

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	通所支援事業所子工口			
○保護者評価実施期間	2025年 11月 1日		～	2025年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数)	6名
○従業者評価実施期間	2025年 12月 20日		～	2025年 12月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数)	2名
○訪問先施設評価実施期間	2025年 11月 1日		～	2025年 11月 30日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	3名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 20日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	当児童発達支援(子工口)を利用している方を多く対応している為、訪問先(幼稚園・保育園等)や家庭以外の様子も把握している。その為、具体的な支援の方法が提案できる	訪問支援員と児童発達支援スタッフが情報共有し、日々活用している視覚支援やアイテムを共有している。	何かトラブルや不適切行動がある時だけでなく、落ち着いている時こそ訪問させて頂き、「いつもの様子」もしっかり把握した上で共通認識を持って、困り感がある際は具体的な提案を行う。
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援員の配置人数	保育所等訪問の依頼や多様なニーズが増えていることで全ての依頼には応えきれない	事業所内の職員(訪問支援員、児童発達支援スタッフ含む)のスキルアップ(人材育成)を目指す。また多様なニーズに応えていく為にも人員配置や訪問ケースのルール化を行う。
2			
3			